

3月予算議会 開会中

一般質問で市民の願い取り上げ実現せまる

開会中の3月議会は2月28日の議案質疑で山岡光広・岡田重美・西山実の各議員が質疑を行いました。また、3日から6日にかけて一般質問が行われ、17名の議員が登壇しました。岡田重美議員の質問と答弁のポイントを紹介します。なお、6日の山岡光広議員の一般質問は、次号で掲載します。

岡田重美議員

岡田重美議員は、①介護支援専門員への支援について、②甲賀市投票区再編計画(案)について、③コミタク・コミバスのダイヤ改正、土山地域のライドシェア導入について、④土山地区における安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について、⑤主要地方道甲賀土山線の歩道整備の5つのテーマで質問しました。

投票区域再編計画について、選挙管理委員長は、3km3千人の基準は、分割の基準であること、住民説明会では正確に伝えていないことを認め、たうえで、「これを適正な選挙執行の規模の目安とした。今後予定しているパブリックコメントでしっかりお伝えしたい」と回答がありました。岡田議員は、「総務省がこの通知をもって統合せよとは言っていない、一旦立ち止まって、白紙に戻して検討すべき」と再度質しました。土山地域に導入される「公共ライドシェア」の利用料金について、1エリア2500円、土山町内で3エリアでは7500円となることから、負担軽減を求めました。建設部長は、実証運行の状況を見ながら検討したいと回答がありました。

各議案に対する質疑

山岡光広議員は、令和7年度一般会計における「福祉・介護」分野の新規事業について質問しました。

带状疱疹ワクチン接種費補助294万円について、助成対象・助成額を質問したところ、健康福祉部長より、対象は50歳から64歳までとし、助成額は、生ワクチン2000円、不活化ワクチンは2回接種完了で一万円を予定していると回答がありました。

単位老人クラブ補助として477万4千円が計上されたことに関して、市内の単位老人クラブ数と加入数、助成額と周知方法について質問したところ、健康福祉部長は、区・自治会あてのアンケートから、112地域で活動があることを確認したが、市全体の正確な団体数と加入者数を把握できていないこと、助成額は、会員数が15名以上30名未満のクラブに、年額14400円、会員数が30名以上のクラブに年額36180円を予定と回答がありました。山岡議員は、「甲賀市高齢者団体育成補助金交付要綱」の中には15名という記述は全くない。交付要綱に基づいて支給すべきと再質問しました。

岡田重美議員は、甲賀市介護保険特別会計予算について、施設介護サービス給付費の増額理由と居宅介護サービス

給付費の減額理由を質問。健康福祉部長より、保険給付費は、介護報酬改定の影響により予算を上回る見込みであるが、居宅介護サービス給付費は、訪問介護等において想定より少ない利用者数であり、予算を下回る見込みと回答がありました。

西山実議員は、令和7年度人件費予算は、令和6年度予算に対して6億6408万円増額していることについて、積算の根拠、長時間残業を是正するための手立てを質問しました。

総務部長より、給与改定による給料・諸手当の増額分が約4億500万円、共済費が約6千万円の増額、定員適正化計画の見直しに伴う定数増による増額分が約1億2200万円と回答がありました。また、長時間労働を是正するためには、適正な職員数の確保、ICTを活用した業務の効率化などとともに、管理職のマネジメントの徹底が必要と回答がありました。

甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、国保税額の推移と上昇額、上昇率を質問したところ、総務部長より40歳代夫婦と10歳の子どもの3人で営業所得が3百万円の場合、年間税額は令和5年度43万5600円、令和6年度45万4500円、令和7年度48万9000円、令和7年度は、2万6400円、5.8%の増と回答がありました。

議案提案権をいかして3つの意見書案を提出

■防霜ファンの更新等にも国の補助を求める意見書案

山岡光広議員は、「良質のお茶生産に欠かせない防霜ファンが、設置から40年以上経過し、更新には産地全体で約13億円の費用がかかる」といわれている。新設と同様に国の補助制度が必要」と意見書案を提出。

■高額療養費制度における自己負担上限額引き上げの中止を求める意見書案

岡田重美議員は、「がんなどで長期にわたり治療を受け、高額な医療費を負う患者・家族にとつて、高額療養費制度はまさに命綱であり、負担上限額引き上げとなれば生活が成り立たなくなる、あるいは治療の継続を断念しなければならぬ」と意見書案を提出。

■陸上自衛隊饗庭野演習場で榴弾砲等実弾射撃訓練の中止を求める意見書案

西山実議員は、「あいばの演習場では、人命を奪いかねない重大事故が繰り返されている。重機関連、迫撃砲、155ミリ榴弾砲などの実弾射撃訓練を中止する以外に、演習場周辺の安全は確保できない」と意見書案を提出。

意見書案は、議会最終日の3月21日に討論・採決が行われます。

| | | | |
|--|---|--|--|
| 日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2025年 3月 9日 第531号 |  山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415 |  岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696 |  西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044 |
|--|---|--|--|